

## 今月のトピックス 「ミカンハダニについて」

### 1) 特徴と生活史

ミカンハダニはかんきつ類の重要害虫で、ナシにも発生することがあります。よく目立つ赤いダニで、0.5mm まで大きくなるため、虫眼鏡を使えば簡単に見つけることができます。



ミカンハダニ雌成虫

ミカンハダニ卵と孵化幼虫

三重県では、主に梅雨前と秋に急増します。年間十数世代を繰り返します。薬剤抵抗性が発達しやすい害虫です。冬も暖かければ活動を続け、増殖します。

主に葉裏につき、被害を受けると葉全体が白っぽくなります。

### 2) これからのミカンハダニ制御技術は・・・

近年、三重県ではミカンハダニの発生パターンが平年と異なる年が見られます。年間を通じて発生が非常に少なかったり、梅雨明けに大発生したりする年があります。いろいろな理由が考えられますが、防除体系防除薬剤の変遷、それに伴う土着天敵相の変化復活、冬期気象の変化などの影響が関係しているのかもしれませんが。

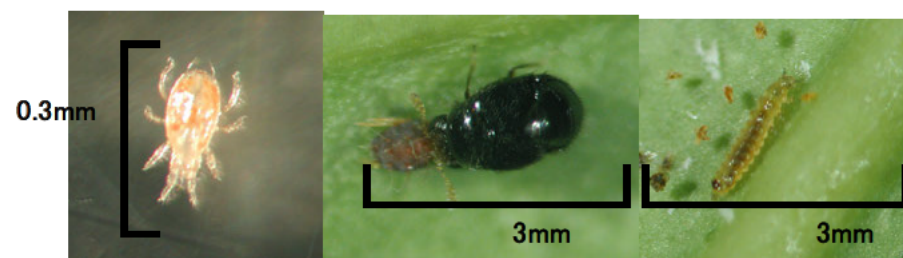
とりわけ、近年の土着天敵類の活動には目を見張ります。県南部のかんきつ園地でも、カブリダニ類やケシハネカクシ類が、ミカンハダニの発生消長に影響していることが確かめられています。

土着天敵類の保護活用技術は、かんきつ類におけるハダニ制御の重要な技術として確立されつつあります。

周辺の環境を適正に保全することで、土着天敵類の待避増殖場所になることがわかっています。また、園地内の土着天敵類保護のためには、マシン油乳剤を有効に利用するのがいいでしょう。かんきつ類では冬マシン、夏マシンは必ず散布します。樹体生育を健全にし、園地の基本管理を徹底することも薬剤を有効に利用するためには大切です。

### 3) 土着天敵類の写真

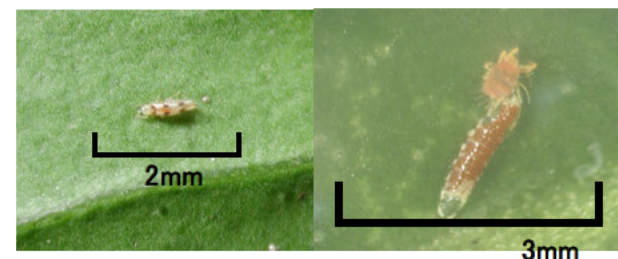
三重県のかんきつ園で見つかったミカンハダニの土着天敵です。



カブリダニ類

捕食中のケシハネカクシ類成虫

ケシハネカクシ類幼虫



ハダニアザミウマ

ハダニバエ類幼虫